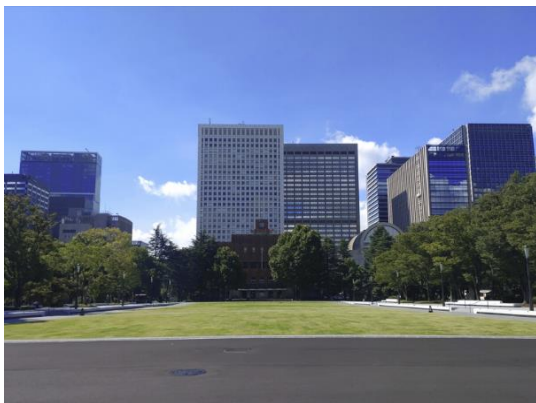


今回は、日比谷公園にスポットを当てて紹介します。
 昨年九月からの第二花壇の整備が終わり、2024年9月より「芝庭広場」がオープンしました。広場には人の立ち入りが許されていますが、下記の注意事項があるようです。

- 大切な芝生を楽しむため、芝生の上でできないこと
- イス、テーブル、三脚など、先端が尖ったものの持ち込み
 - テント設置 *通気性良い敷物のご利用を推奨
 - 自転車、お子様用キックバイク、キックボードなどの持ち込み
 - 球技、ローラースケート、スケートボードなどを行うこと
 - 犬・猫などペットを入れること
 - 芝生を抜く、土を掘る、飲み物やシャボン玉の液などをこぼすこと
 - 大きな音を出すこと、危険な行為、他の人に迷惑がかかる行為

今年の夏は、数十年に1度しか咲かないアオノリュウゼツランの開花が見られました。また、公園の中には、馬の水飲み場や「自由の鐘」など歴史的な構造物もあります。



「芝庭広場」噴水側から



「芝庭広場」日比谷公会堂側から



7月17日



7月17日



8月20日



9月10日



数年前に咲いた
リュウゼツランの
子孫。
次は何年後？

数十年に一度しか開花しないと言われ、「1世紀に一度開花する植物（センチュリープラント）」の別名を持つリュウゼツラン。7月11日が開花日で17日に見に行きました。花は下の方から先始め全部咲くまではひと月くらいかかるようです。



公園開設当時（明治36年）の
照明灯と同じデザイン。
鋳鉄製



終戦直後、連合軍総司令官だったマッカーサーの提案を受けた米国の市民有志が、自由の恩恵を受ける社団法人日本新聞協会に鐘を寄贈しました。